

1 事業概要

事務事業名		交通体系整備事業		課名	リニア推進課	事業No.	33
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H10	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する			
	分野別計画						
法令・例規等							
事業目的		対象	市民				
		意図	市民の地域公共交通利用				

2 事業内容

30年度取組	取組内容	経費の内容			事業費(千円)
	飯田市地域公共交通改善市民会議を開催し、バス・乗合タクシーの運行、利用促進について協議しました。 主な内容として、ピアゴ飯田駅前店の9月閉店に伴い、買い物困難者対策として乗合タクシーかざこし線買い物直行便の実証運行開始、山本地域づくり委員会から要望のありました西部山麓線への乗合タクシーを平成31年4月から実証運行開始、市民バス大休線の運行事業者変更を協議しました。 地区民生児童委員協議会や高齢者クラブに出向いて乗合タクシーの利用方法等の説明を行い、利用促進に取り組みました。広域バス駒場線の車両へ風越高等学校生徒がデザインした原画をラッピングし、利用促進につなげました。	一般乗合旅客自動車運送事業補助金			103,155
地域公共交通改善市民会議負担金				3,624	
南信州広域連合負担金(地域公共交通事業負担金)				1,769	
広域バス駒場線バスラッピング業務委託				702	
地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか				369	
その他の経費				0	

活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	実績	実績		
	運行支援する市民バス路線数	路線	9	9	9		
	運行支援する乗合タクシー路線数	路線	14	14	13		
	地域公共交通改善市民会議開催数	回	2	2	3		
	バスの年間延べ利用者数	人	369,284	364,715	368,859		
	乗合タクシーの年間延べ利用者数	人	23,845	22,110	20,782		

30年度決算(千円)	予算額		特定財源内訳及び補足事項				
		116,112					
	決算額	109,619	(県) 地域発元気づくり支援金(2/3)				
財源の状況	国庫支出金	0	(地) 過疎対策(充当率100%)				
	県支出金	468	(そ) 財産収入				
	地方債	35,200					
	その他	5,895					
	一般財源	68,056					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	116,112	109,619	市民バス等運行業務費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 利用者は389,641人で、前年度比0.8%・年間延べ3,090人増加しました。(バス利用者：前年度比1.1%・年間延べ4,144人増加、乗合タクシー利用者：4.8%・年間延べ1,054人減少) 利便性の高い地域公共交通を目指します。 交通空白不便地域の解消、買い物困難者への対応などについて、実証運行を行い公共交通の在り方を検討します。
上記の課題解決のための有効策	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通改善市民会議及び部会において、利用者の意見を聞き、利用者にとって使いやすいダイヤ及び停留所の公共交通を提供します。 ICTの活用に向けた研究が必要です。
次年度に向けての取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 山本地域づくり委員会から要望のありました乗合タクシー山本西部山麓路線実証運行を行います。 ピアゴ飯田駅前店閉店後の乗合タクシーかざこし線買い物直行便の実証運行の今後について総括します。 バスロケーションシステム、交通系ICカード、自動運転、EVモビリティ等の情報を収集し、研究します。